



2013 FUJI CHAMPION RACE SERIES ROUND 5



REVIEW

TMSC ALL Vitz Clubman Race Series 2013 Grand Final



今大会最初の決勝レースは土曜日の11:15より行われたVitz Clubmanクラスのグランドファイナルレースだ。早朝の予選で決まったグリッドはポールポジションがClass2 222 TMSC Vitz 奈良紀康、2'16.668のタイム、フロントローに並ぶのはClass1 のトップ150 ベースメーカーズノコ☆Vitz 赤堀康裕 2'18,029だ。SCP10クラスのトップは18 おもてなしヴィッツ 鈴木克彦。8周の決勝レースは上位3台が予選順位どおりに周回を重ねてゆくが、その後ろでは終始激しい4位争いが続く。結果はClass2 222 奈良が逃げ切り優勝、総合2位にはClass1トップの150 赤堀、続いて同じクラスの151 ベースメーカーVitz★724 平松正行、総合4位でクラス3位で54 RP緑茶μ恋空祝桜ヴィッツ 佐茂憲明、SCP10クラスは18 鈴木が優勝した。

RESULT リザルト TMSC ALL Vitz

Rank No.	Name
CLASS 1	
1	150 赤堀 康裕
2	151 平松 正行
3	54 佐茂 憲明
CLASS 2	
1	222 奈良 紀康
2	96 黒沢 誠
3	22 松本 克己
SCP 10	
1	18 鈴木 克彦

REVIEW

JAF Local Championship F4 West Japan Series ROUND 6



F4西日本シリーズも今回が最終戦、ここまでで92ポイントで18 SUCCEED SPORTS 川端伸太郎がチャンピオンを決めている。予選でトップタイムをマークし、川端を押さえたのはF4東日本とFCJのダブルタイトルを決め、今回の富士にスポット参戦をしてきている14 ZAP・JSS・PFC 山下健太、1'42.298でポールポジションとなる。フロントローに並ぶのは18 川端の1'42,899。決勝レースではスタートで14山下はそのポジションをキープし、コンスタントにラップを重ねてゆく、前半では2番手争いもあったものの、18川端がその背後につくというレース展開。トップ2台は前半でベストラップを更新しながら等間隔に徐々に後ろを引き離しにかかるが、3番手争いはレース後半まで続いた。15週のレースを終え、ポルトウウィンで14 山下の優勝、2位には18 川端、3位は7 TAIROKU F108 山口大陸という順位となった。レース後、18 山下は「スタートは良くなかったのですが、なんとか逃げ切りました。最後の方は1コーナーと最終コーナーにオイルが出ていたようでタイムが落ちて後ろが気になったのですが、慎重に行きました」と話している。



RESULT リザルト F4

Rank No.	Name
1	14 山下 健太
2	18 川端 伸太郎
3	7 山口 大陸
4	10 加藤 智
5	15 三浦 愛
6	82 栗原 正之

REVIEW

Porsche GT3 Cup Challenge Japan ROUND 8&9

今シーズン最後の第8・9戦が行われたポルシェGT3カップチャレンジジャパン。まず第8戦の予選でコースレコードを更新してのトップタイムを出したのは、トライアルクラス7 D'station HAI997 星野敏 1'45.449。CupIIクラストップはこちらもレコード更新で総合7番手 99 TCS-NARA KRM トライ仲尾の1'47.291、オープンクラストップもレコード更新の23 KremerRacingGT3 滝澤智幸、CupIクラスもレコード更新で78 雷神997GT3Cup Aquira Stanleyとなっている。決勝レースでは開始直後から激しいトップ争い、また3番手や5番手なども各所でバトルが繰り広げられた。激戦の中、ポールからスタートの7星野が逃げ切り優勝。続く第9戦では第8戦でトップタイムをマークした19 TAJIMA Racing 田島剛がポールからのスタート、フロントローには33 PCJ K'sFrontier OGINO TETSUOが並ぶ、ローリングスタートが切れ、1コーナーで第8戦の優勝7 星野が2番手に上がるがトップ3台が終始激しい争い、5周目で7星野がついにトップに立ち最終ラップまでコマ差の戦いは続いたが、最初にチェッカーを受けた。



ROUND 8



Trial



Open

RESULT リザルト Porsche GT3 Cup

RankNo.	Name
トライアル	
1	7 星野 敏
2	19 田島 剛
3	15 神取 彦一郎
4	33 OGINO TETSUO
5	38 Aki MIYAZAKI
6	26 KENJI NAKAHARA
7	22 Masaya KOYAMA
8	6 ARTE ROSSI
9	72 タカ タカシ
Cup-I	
1	78 Aquira Stanley
2	3 清水 正智

RESULT リザルト Porsche GT3 Cup

RankNo.	Name
オープン	
1	23 滝澤 智幸
2	10 安達 暁三
3	24 尾崎 浩一
4	88 トモヤ
5	20 レッド キャッスル
Cup-II	
1	99 トライ 仲尾
2	84 多賀 正展
3	75 南郷 博美
4	25 エディオン ニケ



ROUND 9



Trial



Open

RESULT リザルト Porsche GT3 Cup

RankNo.	Name
トライアル	
1	7 星野 敏
2	19 田島 剛
3	15 神取 彦一郎
4	26 KENJI NAKAHARA
5	33 OGINO TETSUO
6	22 Masaya KOYAMA
7	38 Aki MIYAZAKI
8	6 ARTE ROSSI
9	72 タカ タカシ
Cup-I	
1	78 Aquira Stanley
2	3 清水 正智
3	36 SKY CHEN

RESULT リザルト Porsche GT3 Cup

RankNo.	Name
オープン	
1	23 滝澤 智幸
2	10 安達 暁三
3	88 トモヤ
Cup-I	
1	99 トライ 仲尾
2	84 多賀 正展
3	75 南郷 博美
4	25 エディオン ニケ

REVIEW

ROADSTER CUP NC DEMIO RACE ROUND 4



RESULT リザルト RSC NC

Rank No.	Name
1	64 芝本 淳
2	8 菊池 聡
3	21 新井 敏克
4	121 Blackmore Otto
5	18 ランマン

RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	75 西山 隆
2	24 オブチ マサヒト
3	34 常盤 岳史
4	51 戸田 和彦

REVIEW

N1400/N1000/DEMIO(N1) ROUND 3



毎回激しいレース展開となるこのクラスは今回が第3戦目、予選でN1400クラストップになったのは、今回スポット参戦の69 風は西からトヨタEP82 阪本真人、そこにポイントリーダーの21 スノコμDL マリンAID82 大竹直がフロントローに並ぶ。N1000クラスは39 IDI・DL・ROMANTEC10 黒岩巧が2'17.229のコースレコード更新でトップからのスタート。決勝レースはやはり開始直後から各所でバトルが繰り広げられ、順位が目まぐるしく変わってゆく。その中7番手スタートから混戦を潜り抜け、4周目にトップに立ったのは13 高田眼科MMS岸本RSカルタス 北川信弘、そこに21 大竹が続く形となるが、13 北川は徐々に引き離しにかかり、2番手争いを尻目にトップでチェッカーを受けた。N1000クラスは39 黒岩が逃げ切り、デミオクラスは103 R.P.M/Hが優勝。13北川は「昨夜岡山からエンジンを運んでもらい、徹夜作業で乗せ変えてくれたチームの皆の為にどうしても勝ちたかったので、とても嬉しい!」と話し、39 黒岩は「何とか前には出られましたが、後ろ2台はスリップを使い合っていたのでストレートが速い!とても気の抜けないレースでした」103 R.P.M/Hは「ラップギリギリで10周走ってチェッカーが受けられた!」と喜んでいた。



RESULT リザルト DEMIO(N1)

Rank No.	Name
1	103 R.P.M/H
2	8 大谷 淳

RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	13 北川 信弘
2	21 大竹 直
3	22 みかもとひろし
4	0 戸数 直人
5	44 平岡 顕二郎
6	69 阪本 真人

RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	39 黒岩 巧
2	32 海野 純也
3	41 佐藤 英二
4	51 清水 悠祐
5	2 あおき みのる
6	17 吉永 大器

REVIEW

Super FJ FJ1600 ROUND 5



RESULT リザルト Super FJ

Rank	No.	Name
1	36	太田 達也
2	2	根本 悠生
3	41	今井 龍太
4	37	神村 悠太
5	51	RAIDEN
6	27	小松 周司

RESULT リザルト FJ1600

Rank	No.	Name
1	11	佐藤 晋一
2	7	笹尾 徹也
3	38	原田 健
4	20	柿島 昭一

REVIEW

SILVIA-180/MR2/NA1600 N1600/AE86 ROUND 4



5クラス混走のこのレースも今回が最終戦、AE86クラス以外は前戦までにチャンピオンは決定している。予選でトップタイムを出したのはシルビア180クラス24 ディバージョンμフルスロシルビア 瀧下貴之が1'58.844。MR2クラスでは78 ダイエーモータースDXLMR2 谷田伸行が2'01.653のコースレコード更新でのトップタイム、ポールポジションからスタートするのはNA1600クラスの37 四季の森歯科IDIウィンちゃん86 秋元優範、AE86クラスはこちらも2'01.858でコースレコード更新の240 ガレージアネックス・μ・レビン 山口崇がトップからのスタートとなる。決勝レースではトップからスタートの37 秋元が逃げの体制に入り、24瀧下がオープニングラップで総合2位に上がるも今回は追いつけない、終始バトルを繰り上げたのは総合3番手争いだ、12週のレースがチェッカーとなり、各クラス優勝はMR2が78 谷田、AE86は240 山口、NA1600が37 秋元、N1600は33 児島自動車高田眼科藤井シビック 国本悟、シルビアが24 瀧下となった。レース後総合トップの37秋元は「シルビアが早かった!こちらはマシンの性能上雨には弱いから、前回のような天気だったらもっと辛かった」と話していた。

RESULT リザルト NA1600

Rank	No.	Name
1	37	秋元 優範
2	6	阿波島 武

RESULT リザルト N1600

Rank	No.	Name
1	33	国本 悟

RESULT リザルト MR2

Rank	No.	Name
1	78	谷田 伸行
2	3	土取 謙太郎
3	4	阿部 恵一
4	26	藤永 雅彦

RESULT リザルト SILVIA-180

Rank	No.	Name
1	24	瀧下 貴之
2	11	大山 雅樹
3	79	西田 広一郎

RESULT リザルト AE86

Rank	No.	Name
1	240	山口 崇
2	40	柳本 文彦
3	36	大石 重之
4	16	朝倉 潤司
5	17	上條 晃司